

# 歴史探訪

## クラブ!

其の  
159

History Inquiry Club



文化生涯学習課 ☎ 23局3635  
FAX 22局3811

### 書物のおかげ

『田原の文化財ガイドⅡ ふるさと  
の偉人を訪ねる―田原を築いた人  
びと』（平成23年3月発行）にて、  
19人の人物を紹介しました。また、  
平成13年から始まったこの『田原歴  
史探訪クラブ』でもたくさんの方に  
ついて書いてきました。

私が渡辺崋山先生のことを初めて  
知ったのは、小学4年生の時に  
もらった『少年物語 渡邊崋山』とい  
う本からでした。「学ぶ」というこ  
とは、小学校に入る前からでも可能



▲現在も(公財)崋山会が  
小学生に配布している  
「少年物語 渡邊崋山」

ですが、読書の習慣や歴史上の人物  
に興味を持つのは、小学生くらいか  
らでしょう。皆さんが自分自身で、  
本を読み始めたのはいつごろからか  
覚えているでしょうか。

「ふるさとを学ぶ」ために大人の  
方なら博物館や図書館、最近ではパ  
ソコンやスマートフォンを利用す  
る、そんな方も多くいると思います。

田原中部小学校で、現在でも学期  
ごとに発行される  
『家庭と学校』と  
いう機関紙があり  
ます。田原藩の藩  
校だった成章館跡  
に建つ田原尋常高  
等小学校の教育  
奨励会が110  
年前の明治37年  
(1904年)11  
月3日に第1号を  
発行しました。こ



▲明治37年から始まる「家庭と学校」合本(田原市博物館蔵)

の年は、日露戦争開戦の年で、当初  
は、書名にあるように児童・保護者  
・学校が一体になり、学校のでき  
ごとをお知らせし、教科書以外の「読  
み物を与え」と書かれています。子  
ども向けの本もあまり無い時代に、  
2号から「アリババと四十の盗賊」  
を翻訳して連載しています。286  
号からは「田原史蹟物語」と題し、  
39話にわたり、吉胡貝塚から年代順  
に郷土史の紹介が連載されました。  
毎号保存していけば、田原の歴史が  
学習できます。

戦前・戦後にもシリーズ  
化され、「郷土物語」

「子供のための郷土史蹟物語」など  
があります。明治41年から、当時で  
は珍しい写真も使用され、町の様子  
も知ることのできる貴重な記録で  
す。田原市中央図書館でもバックナ  
ンバーがご覧になれます。

読書を通してたくさん情報や知  
識を得ることができます。月刊誌や  
パンフレットのような印刷物でも長  
く続くことで歴史を調べる大事な  
ツールになることがあります。古い  
本や地元のことが載っているものを  
読んで新しい発見にたどりつくこと  
もできます。図書館で探してみると  
おもしろそうな本に出会うこともで  
きますよ。

(鈴木利)

### 今月の 「表紙」

▼地域に残る貴重な棚田  
を守るうと、童浦校区白  
谷区の有志で結成した  
『棚田まもる会』。幅広い世代で  
行う活動は、今では棚田を中心  
とした地域づくりに発展してい  
るそうです。古きよき時代を懐  
かしむ気持ちが強くなってきた  
と感じるのは、赤く染まる空と  
棚田で郷愁にかられたせいなの  
か、年齢のせいなのか。(M)

【表紙の写真】白谷区(童浦校区)の棚田に映る夕焼け